

様式第 1 号

令和 2 年 6 月 3 0 日

東京都知事 殿

学校法人 メイ・ウシヤマ学園

理事長 山中 祥弘

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	ハリウッド美容専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u> )
大学等の所在地	東京都港区六本木 6-4-1
学長又は校長の氏名	山中 ジェニー
設置者の名称	学校法人 メイ・ウシヤマ学園
設置者の主たる事務所の所在地	東京都港区六本木 6-4-1
設置者の代表者の氏名	山中 祥弘
申請書を公表する予定のホームページアドレス	<a href="http://www.hollywood.ac.jp">http://www.hollywood.ac.jp</a>

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知していません。

大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を

取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるととも  
に、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等  
を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号  
及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	法人事務局 山中貞範	03-3408-5020	houjin@hollywood.ac.jp
第2号の1	学務室 光江徳尚	03-3408-5020	mitsue@hollywood.ac.jp
第2号の2	法人事務局 山中貞範	03-3408-5020	houjin@hollywood.ac.jp
第2号の3	学務室 光江徳尚	03-3408-5020	mitsue@hollywood.ac.jp
第2号の4	学務室 光江徳尚	03-3408-5020	mitsue@hollywood.ac.jp

○添付書類

※以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（）を付けた上で、これ  
らの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異な  
ることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の  
基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定  
める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映するこ  
とができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定  
める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人 メイ・ウシヤマ学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	898,422,054 円	954,661,586 円	△56,239,538 円
申請2年度前の決算	789,062,279 円	961,994,226 円	△163,931,947 円
申請3年度前の決算	846,676,997 円	980,634,473 円	△133,957,476 円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	1,784,385,964 円	21,305,019 円	1,763,080,945 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	1,320 人	430 人	32.5%
前年度	1,320 人	475 人	35.9%
前々年度	1,320 人	462 人	35.0%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
預貯金	三菱UFJ銀行 ほか	1,593,348,455 円
特定資産	株式	50,000,000 円
有価証券	みずほリース ほか	124,536,441 円
有価証券	ソラトピア、みずほホールディングス ほか	16,506,108 円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
未払金		21,805,019 円
		円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
美容総合専門課程	高度美容総合学科	夜・通信	175単位	12単位	
	美容総合学科(2年制)	夜・通信	112単位	6単位	
	美容総合学科(1年制)	夜・通信	33単位	3単位	
	美容総合学科	夜・通信	112単位	4単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「履修の手引」を作成し、履修指導開始前より総合受付・図書室等で閲覧に供する。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて公開している。 <a href="https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2019/09/disc-13-3.pdf">https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2019/09/disc-13-3.pdf</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公認会計士	平成31年 6月14日 ～令和4年 6月13日	財務
非常勤	会社経営者	平成31年 6月14日 ～令和4年 6月13日	運営体制等全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>高度美容総合学科、美容総合学科(昼間部2年制・昼間部1年制、夜間部)</p> <p><b>【作成について】</b>                  授業科目については、毎年度、校内会議による授業科目の設定・講義内容についての検証・検討を行い、その結果に基づき、各授業担当教員により、シラバス作成を行っている。                  シラバスの様式は、授業科目名、必要時間数、担当教員名・到達目標、授業計画、成績評価方法、教科書に関する記載が必須となっている校内統一様式である。</p> <p><b>【時期について】</b>                  翌年度の授業計画は、前年度の12月に担当教員が作成し、理事会の了承を得て、決定される。3月には、学科別の「履修の手引き(シラバス)」として、総合受付・図書室等において公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	学科ごとに「履修の手引き(シラバス)」を作成し、履修指導開始前より総合受付・図書室等で観覧に供する。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果の評価は、筆記試験または実技試験で70点以上であること、実習授業は8割以上出席すること、教科科目は3分の2以上出席することが必須であり、授業に向けた意欲・態度と、レポート・宿題等の提出物の内容を加味して認定される。</p> <p>定期試験においては、技術科目の採点は、複数の教員で行い、資格試験に関連する学科科目の問題は、過去の資格試験の問題を参考にして出題している。その他の学科科目は実社会(職場)で役に立つ課題を中心に出題している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価、履修・卒業の要件については、学則により規定している。</p> <p>成績評価については、実習科目と講義科目で基準が異なるものの、出席状況を重視し、十分な出席を果たした学生を対象として、定期試験の得点(70 点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15 点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15 点満点)の総合点について、100～90 点を「5」、89～80 点を「4」、79～70 点を「3」、69～60 点を「2」、59 点以下を「1」とする。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学科ごとの「履修の手引き(シラバス)」に掲載し、観覧に供している。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ハリウッド美容専門学校は、教育基本法に基づき、美容とファッションに関する知識・技術を授け、人格を高め、美容界並びにファッション界に有為なる人材を育成している。</p> <p>卒業要件については、各学科が定める所定の教科科目・単位を、在学期間内にすべて修得することとしている。詳細については、ディプロマポリシーをはじめ、学則、履修の手引等に記載している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学科ごとの「履修の手引(シラバス)」に掲載し、観覧に供している。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-7.pdf">https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-7.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-2.pdf">https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-2.pdf</a>
財産目録	<a href="https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-1.pdf">https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-1.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-12.pdf">https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-12.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/08/%E7%9B%A3%E4%BA%8B%E7%9B%A3%E6%9F%BB%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf">https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/08/%E7%9B%A3%E4%BA%8B%E7%9B%A3%E6%9F%BB%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1) 高度美容総合学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生	美容総合専門課程	高度美容総合学科		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	124 単位時間/単位	37 単位時間 (単位)	34 単位時間 (単位)	104 単位時間 (単位)	単位時間 /単位	175 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	32人	6人	21人	21人	42人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等



<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所定の科目に不合格の場合、追試を行う。</li> <li>・ 進級または卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。</li> </ul>
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (%)	15人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 美容業、化粧品会社			
(就職指導内容) 就職セミナー、面接トレーニング等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師免許、SBS1級、睫毛エクステンションアドバンス、パーマ3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	2人	6.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談室を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。 (担任・学年主任等により個別面談を実施)		

## (2) 美容総合学科（昼間部2年制）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容総合専門課程	美容総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位時間/単位	28 単位時間 /単位	19 単位時間 /単位	65 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			112単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
880人		317人	57人	21人	21人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） ・所定の科目に不合格の場合、追試を行う。 ・進級または卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
121人 (100%)	0人 (%)	121人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 美容業、化粧品会社			
（就職指導内容） 就職セミナー、面接トレーニング等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師免許、SBS1級、睫毛エクステンションアドバンス、パーマ3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
297人	30人	1.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談室を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。 (担任・学年主任等により個別面談を実施)		

(3) 美容総合学科 (昼間部 1年制)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容総合専門課程	美容総合学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	27 単位時間/単位	7 単位時間 /単位	11 単位時間 /単位	15 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		33時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	93人	93人	21人	21人	42人		
カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)							
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照							
成績評価の基準・方法							
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照							
卒業・進級の認定基準							
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照							
学修支援等							
(概要) ・所定の科目に不合格の場合、追試を行う。 ・進級または卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。							

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
136人 (100%)	0人 (%)	136人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 美容業、化粧品会社			
(就職指導内容) 就職セミナー、面接トレーニング等			

(主な学修成果 (資格・検定等) ) 美容師免許、SBS1級、睫毛エクステンションアドバンス、パーマ3級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
146人	9人	6.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談室を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。 (担任・学年主任等により個別面談を実施)		

## (4) 美容総合学科（夜間部）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容総合専門課程	美容総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	67 単位時間/単位	28 単位時間 /単位	19 単位時間 /単位	65 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			112 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		0人	0人	21人	21人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） ・所定の科目に不合格の場合、追試を行う。 ・進級または卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
高度美容総合学科	150,000円	600,000円	540,000円	「その他」は実習費等
美容総合学科 (2年制)	150,000円	600,000円	540,000円	同上
美容総合学科 (1年制)	150,000円	430,000円	330,000円	同上
美容総合学科(夜)	150,000円	600,000円	540,000円	同上
修学支援(任意記載事項)				
① ハリー・ウシヤマ奨学金(特待生・優待生・奨学生制度)				
② 提携美容サロン奨学金(学費支援)				
③ ジェニー・ウシヤマ奨学金(遠隔地出身者支援)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/self.pdf">https://www.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/self.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)  関係者として関連企業、地域支援者などを含む学校関係者評価委員会を組織し、各委員の知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を実施した。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
独立行政法人大学評価・学位授与機構顧問	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	有識者
全国定時制通信制高等学校長会事務局長	同上	有識者
株式会社代表取締役社長	同上	実務者
株式会社代表取締役社長	同上	実務者
前東京都立高等学校校長	同上	有識者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/self.pdf">https://www.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/self.pdf</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/self.pdf">https://www.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/self.pdf</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

### 1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		32人	33人	36人
内 訳	第Ⅰ区分	19人	13人	
	第Ⅱ区分	10人	10人	
	第Ⅲ区分	－人	10人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				36人
(備考) 前半期に3人が受給資格を失い、後半期より4人が受給資格を得た。				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

### 2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	



3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下 のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。